



# 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 タカラバイオ株式会社  
 コード番号 4974 URL <http://www.takara-bio.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 仲尾 功一  
 (氏名) 松崎 修一郎

TEL 077-543-7212

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,761	20.5	111	70.8	217	112.7	△36	—
27年3月期第1四半期	4,779	14.6	65	—	102	—	18	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △172百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △526百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△0.30	—
27年3月期第1四半期	0.15	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	64,801	59,289	91.3	491.49
27年3月期	66,425	59,642	89.6	494.46

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 59,183百万円 27年3月期 59,541百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,706	15.8	444	△28.9	552	△21.2	10	△97.5	0.08
通期	28,300	9.0	2,350	2.1	2,800	1.0	1,500	55.6	12.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	120,415,600 株	27年3月期	120,415,600 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	— 株	27年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	120,415,600 株	27年3月期1Q	120,415,600 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおりません。今後発生する状況の変化等によっては、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(その他の注記) .....	10
4. 補足情報 .....	10
(1) 経営管理上重要な指標の推移 .....	10
(2) 連結比較損益計算書 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による財政政策や金融緩和により、円安・株高の傾向が定着し、輸出関連を中心とした企業の収益や設備投資および個人消費に穏やかな回復が見られました。しかしながら、輸入原材料高や中国の経済成長鈍化が景気を押し下げるリスクとなるなど、景気の先行きは依然として不透明感が残る状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、長年培われたバイオテクノロジーを活用し、バイオ産業支援事業、遺伝子医療事業、医食品バイオ事業の3つの領域に経営資源を集中し、業績の向上に努めました。

その結果、売上高は、主力の研究用試薬が前年同期を上回ったほか、円安の影響もあり、5,761百万円（前年同期比120.5%）となりました。売上原価は、売上高の増加にともない2,439百万円（前年同期比120.4%）となりましたので、売上総利益は、3,322百万円（前年同期比120.6%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費や人件費等の増加により3,210百万円（前年同期比119.4%）と増加しましたものの、営業利益は、111百万円（前年同期比170.8%）と増益となりました。

営業外損益では、前期の為替差損が当期は為替差益に転じたこと等により収支が改善しましたので、経常利益は、217百万円（前年同期比212.7%）と増益となりました。

特別損益では、固定資産除売却損がほぼ前期並となりましたので、税金等調整前四半期純利益は、211百万円（前年同期比231.1%）と増益となりましたものの、当社において繰延税金資産の計上が認められなくなったことの影響等で法人税等合計が245百万円（前年同期比326.4%）となりましたので、親会社株主に帰属する四半期純損失36百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益18百万円）を計上することとなりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

#### [バイオ産業支援]

バイオテクノロジー関連分野の研究開発活動がますます広がりを見せるなか、当社グループは、こうした研究開発活動を支援する製品・商品やサービスを中心に展開する当事業をコアビジネスと位置づけております。

当第1四半期連結累計期間の品目別売上高の状況については、主力の研究用試薬の売上高は、円安の影響もあり前年同期比で大きく増加いたしました。また、受託サービスおよび理化学機器の売上高も前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、外部顧客に対する売上高は5,304百万円（前年同期比122.1%）と増収となり、売上総利益は3,239百万円（前年同期比118.0%）と増加いたしました。販売費及び一般管理費は、研究開発費や人件費等の増加により2,247百万円（前年同期比115.5%）と増加いたしました。営業利益は991百万円（前年同期比124.1%）と前年同期を上回りました。

#### [遺伝子医療]

当事業では、高効率遺伝子導入技術レトロネクチン法、高効率リンパ球増殖技術であるレトロネクチン拡大培養法、siTCRおよびRNA分解酵素等の自社技術を利用した、がんとエイズの遺伝子治療の早期商業化を進めております。

当第1四半期連結累計期間は、売上の実績がなく、販売費及び一般管理費は、研究開発費の増加により420百万円（前年同期比198.6%）となりましたので、営業損失は420百万円（前年同期営業損失211百万円）となりました。

#### [医食品バイオ]

当事業では、食から医という「医食同源」のコンセプトに基づき、当社グループ独自の先端バイオテクノロジーを駆使して日本人が古来常食してきた食物の科学的根拠を明確にした機能性食品素材の開発、製造および販売を行っており、ガゴメ昆布フコイダン関連製品、ボタンボウフウイソサミジン関連製品、明日葉カルコン関連製品、寒天アガフィトース関連製品、ヤマイモヤムスゲニン関連製品およびキノコ関連製品等を中心に事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間は、キノコ関連製品の売上高は前年同期比で減少いたしました。健康食品の売上高は前年同期比で増加いたしましたので、外部顧客に対する売上高は457百万円（前年同期比104.7%）と増加いたしました。売上総利益は、キノコ関連製品の原価率が改善し、82百万円（前年同期比819.1%）と増加いたしました。販売費及び一般管理費は、研究開発費や運送費等の減少により129百万円（前年同期比80.9%）と減少いたしましたので、営業損失は46百万円（前年同期営業損失149百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (財政状態に関する分析)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は64,801百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,624百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少1,813百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は5,511百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,271百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少680百万円、流動負債のその他に含まれる未払金の減少569百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は59,289百万円となり、前連結会計年度末に比べて353百万円減少いたしました。これは主に、剰余金の配当等による利益剰余金の減少217百万円および為替換算調整勘定の減少144百万円によるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、801百万円の収入となり、前年同期に比べて581百万円の収入減少となりました。これは主に、仕入債務の減少による支出の増加514百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、407百万円の支出となり、前年同期の収入から支出に転じ、1,144百万円の減少となりました。これは主に、有価証券の取得による支出の増加1,049百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、168百万円の支出となり、前年同期に比べて41百万円の支出増加となりました。これは主に、配当金の支払額の増加32百万円によるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第1四半期連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、7,223百万円となり、前連結会計年度末より152百万円の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の連結業績は、売上高および各利益項目（売上総利益・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益）のすべてにおいて、計画を上回って推移しております。

しかしながら、為替変動等の外部環境における不確定要素も多いことから、現時点においては平成27年5月8日に公表した連結業績予想を修正しないことといたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,584	20,299
受取手形及び売掛金	6,741	4,927
有価証券	3,299	3,787
商品及び製品	3,560	3,906
仕掛品	217	290
原材料及び貯蔵品	860	882
その他	1,233	1,308
貸倒引当金	△50	△45
流動資産合計	36,447	35,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,823	11,835
減価償却累計額	△5,836	△5,956
建物及び構築物(純額)	5,987	5,878
機械装置及び運搬具	7,075	7,054
減価償却累計額	△4,371	△4,424
機械装置及び運搬具(純額)	2,703	2,629
工具、器具及び備品	5,845	5,801
減価償却累計額	△3,714	△3,773
工具、器具及び備品(純額)	2,130	2,027
土地	7,698	7,698
リース資産	41	28
減価償却累計額	△34	△23
リース資産(純額)	6	5
建設仮勘定	2,005	2,008
有形固定資産合計	20,532	20,248
無形固定資産		
のれん	1,840	1,766
その他	1,156	1,125
無形固定資産合計	2,997	2,891
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,448	6,303
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	6,448	6,303
固定資産合計	29,978	29,443
資産合計	66,425	64,801

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,939	1,258
短期借入金	57	47
未払法人税等	258	259
引当金	191	359
その他	2,993	2,415
流動負債合計	5,439	4,339
固定負債		
長期借入金	178	178
退職給付に係る負債	475	486
その他	689	506
固定負債合計	1,343	1,172
負債合計	6,783	5,511
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,965	14,965
資本剰余金	32,893	32,893
利益剰余金	8,142	7,924
株主資本合計	56,001	55,784
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,777	3,633
退職給付に係る調整累計額	△238	△234
その他の包括利益累計額合計	3,539	3,398
非支配株主持分	101	106
純資産合計	59,642	59,289
負債純資産合計	66,425	64,801

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
売上高	4,779	5,761
売上原価	2,024	2,439
売上総利益	2,754	3,322
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	644	715
退職給付費用	21	31
研究開発費	703	1,020
引当金繰入額	81	83
その他	1,237	1,359
販売費及び一般管理費合計	2,689	3,210
営業利益	65	111
営業外収益		
受取利息	37	39
為替差益	—	32
補助金収入	—	25
その他	17	11
営業外収益合計	55	108
営業外費用		
支払利息	2	0
為替差損	11	—
その他	3	2
営業外費用合計	18	2
経常利益	102	217
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除売却損	10	6
特別損失合計	10	6
税金等調整前四半期純利益	91	211
法人税、住民税及び事業税	355	452
法人税等調整額	△280	△206
法人税等合計	75	245
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16	△33
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	18	△36



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16	△33
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△542	△141
退職給付に係る調整額	△0	3
その他の包括利益合計	△543	△138
四半期包括利益	△526	△172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△524	△177
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	91	211
減価償却費	269	392
その他の償却額	40	51
のれん償却額	30	44
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△5
その他の引当金の増減額 (△は減少)	156	167
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9	12
受取利息	△37	△39
支払利息	2	0
固定資産除売却損益 (△は益)	10	6
売上債権の増減額 (△は増加)	2,032	1,789
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△379	△457
仕入債務の増減額 (△は減少)	△136	△650
その他	△410	△339
小計	1,680	1,184
利息及び配当金の受取額	29	14
利息の支払額	△2	△0
法人税等の支払額	△325	△398
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,382	801
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△905	△1,077
定期預金の払戻による収入	1,908	2,118
有価証券の取得による支出	△308	△1,357
有価証券の売却及び償還による収入	308	357
有形及び無形固定資産の取得による支出	△246	△424
その他償却資産の取得による支出	△17	△21
その他	△0	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	737	△407
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△9
長期借入金の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△126	△158
リース債務の返済による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127	△168
現金及び現金同等物に係る換算差額	△138	△72
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,854	152
現金及び現金同等物の期首残高	6,430	7,071
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,285	7,223

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	4,342	—	436	4,779	—	4,779
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,342	—	436	4,779	—	4,779
セグメント利益または 損失(△)	798	△211	△149	438	△372	65

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△372百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	5,304	—	457	5,761	—	5,761
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,304	—	457	5,761	—	5,761
セグメント利益または 損失(△)	991	△420	△46	525	△413	111

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△413百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(その他の注記)

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

研究開発費の内訳

研究開発費の総額

1,020百万円

このうち主なものは、次のとおりであります。

従業員給料及び賞与

263

退職給付費用

11

引当金繰入額

35

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

(平成27年6月30日現在)

現金及び預金勘定

20,299百万円

預入期間が3か月を超える定期預金

△13,142

取得日から3か月以内に償還期限が到来する短期投資(有価証券)

66

現金及び現金同等物

7,223

#### 4. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標の推移

① キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

回次	第13期 第1四半期連結累計期間	第14期 第1四半期連結累計期間	第13期
会計期間	自平成26年4月1日 至平成26年6月30日	自平成27年4月1日 至平成27年6月30日	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,382	801	3,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	737	△407	△3,168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127	△168	△231

② 地域別売上高

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

(単位:百万円)

日本	米国	中国	中国を除く アジア	欧州	その他	合計
1,919	999	1,034	296	434	95	4,779

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

(単位:百万円)

日本	米国	中国	中国を除く アジア	欧州	その他	合計
2,200	1,382	1,125	370	569	112	5,761

③ 報告セグメントごとの研究開発費

(単位:百万円)

回次	第13期 第1四半期連結累計期間	第14期 第1四半期連結累計期間	第13期
会計期間	自平成26年4月1日 至平成26年6月30日	自平成27年4月1日 至平成27年6月30日	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
バイオ産業支援	426	555	1,945
遺伝子医療	210	415	1,200
医食品バイオ	39	24	153
全社共通	27	24	102
合計	703	1,020	3,401

## (2) 連結比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	平成27年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	平成28年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
(売上高)				
研究用試薬	3,562	4,277	714	120.1%
理化学機器	293	415	121	141.6%
受託	359	499	139	138.9%
その他ファイナ	127	112	△15	88.1%
バイオ産業支援計	4,342	5,304	961	122.1%
遺伝子医療	—	—	—	—
健康食品	143	196	53	137.2%
キノコ	293	260	△32	88.8%
医食品バイオ計	436	457	20	104.7%
売上高計	4,779	5,761	982	120.5%
(営業損益)				
売上高	4,779	5,761	982	120.5%
売上原価	2,024	2,439	414	120.4%
売上総利益	2,754	3,322	567	120.6%
販売費一般管理費	2,689	3,210	521	119.4%
運送費	146	148	2	101.9%
宣伝費	28	24	△4	83.8%
促進費	204	215	11	105.6%
研究開発費	703	1,020	316	145.0%
商標使用料(宝HLD)	2	2	△0	95.8%
管理費、その他	1,578	1,767	189	112.0%
事業税(外形基準)	24	31	6	126.5%
営業利益	65	111	46	170.8%
(営業外損益)				
営業外収益	55	108	53	197.1%
営業外費用	18	2	△15	15.3%
経常利益	102	217	115	212.7%
(特別損益)				
特別利益	—	0	0	—
特別損失	10	6	△4	60.2%
税金等調整前四半期純利益	91	211	119	231.1%
法人税等	75	245	170	326.4%
四半期純利益	16	△33	△50	—
非支配株主に帰属する四半期純利益	△2	2	4	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	18	△36	△55	—
減価償却費(有形・無形)	269	392	123	145.8%
研究開発費	703	1,020	316	145.0%

## セグメント別損益(営業利益)

	平成27年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	平成28年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
バイオ産業支援	798	991	192	124.1%
遺伝子医療	△211	△420	△208	—
医食品バイオ	△149	△46	103	—
共通	△372	△413	△41	—
計	65	111	46	170.8%